

2018年度予算について

学校法人東京理科大学理事会

2018年度は、諏訪東京理科大学の公立法人化に伴う除却が発生するため、基本金組入前当年度収支差額はマイナスとなる見込みであるが、2017年度同様、教育研究の更なる充実を図るため以下の重点項目を盛り込むと同時に、事業の優先度、経費の必要性・有効性を検証することで無駄な支出を抑え、教育活動収支差額、経常収支差額ともプラスになるよう予算編成を行った。

1. 教育研究の充実

- (1) 学部等配分予算、機構配分予算、教育・研究重点化配分予算等の教育研究費
- (2) 優秀な博士後期課程学生を対象とした経済支援
- (3) 給付型奨学金として新生のいぶき奨学金及び乾坤の真理奨学金を新設
- (4) 給付型奨学金や各種教育研究事業に使用する目的で第3号基本金に教育研究基金を新設し、各種奨励基金として大村賞等の特定資産も第3号基本金へ組入

2. 施設等環境整備の充実

- (1) 野田地区再構築

3. その他

- (1) 諏訪東京理科大学公立法人化に伴う資産処分差額の計上